

## あやか先生

はと組 中田彩花

ずっと憧れだった「幼稚園の先生」になって2ヶ月。はじめは「あやか先生」という呼ばれ方に少し照れくささもありましたが、やっとそれにも慣れてきました。

子どもたちと一緒に生活していると、新しい発見や感動がたくさんあります。特に私の担当している3歳児は成長のスピードが目まぐるしく、毎日驚きの連続です。ある日突然、お母さんと泣かずにバイバイできるようになったり、ひとりでトイレに行けるようになったり、自分で靴を履けたり。そんな時は私も子どもたちと一緒に喜びます。人生の中でたった一度きりの、とても貴重な瞬間に立ち会えた気がして、心から嬉しくなるのです。

入園当初は登園時もドキドキしていた子どもたちですが、今は「おはよ〜！」と元気にあいさつしてくれる子が増えてきました。「あやかせんせ〜い」と叫びながら走ってきてくれる子もいます。幼稚園や私に対して少しでも不安に思う気持ちがあれば、見るができない表情だと思うと、その笑顔をずっと胸に焼き付けておきたくなります。

小さいときからの憧れと「子どもが好き」という思いだけで幼稚園教諭になり、はじめは不安ばかりでした。2ヶ月たった今も不安なことはたくさんあり、経験が少ない分できないことも多く悩むことばかりです。しかし毎日子どもたちの笑顔に触れ、一緒に様々な思いを共有する中で、毎日たくさんのことを学び、そして自分は本当に子どもが好きなんだということを実感しています。今のこの気持ちを忘れずに、子どもたちと一緒に大きく成長していきたいです。